

## 令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第4回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和8年5月15日（金）・16日（土）の2日間、雫石町南畑において、第4回研修を開催しました。前半の講義では、栽培管理①、マルチフィルム、ピーマン、なすの栽培をテーマに学びました。

栽培管理①では、畝立てを行う目的や支柱の立て方、適切な誘引方法について学習したほか、マルチフィルムの機能、ピーマンやなすの栽培方法など、これからの露地栽培に不可欠な基礎知識を習得しました。

後半の実習では、実習ほ場において、2班に分かれて個人で栽培管理する畝の畝立て及びマルチフィルムの敷設を実施しました。昨年度までは、全員で作目ごとに畝を立て、各曜日の受講生全員で管理していましたが、今年度から果菜類の栽培については、受講生一人ひとりが主体性を持って栽培技術を習得できるよう、受

講生1人が1本の畝に作付けして管理する、という新たな手法を導入しました。受講生は自身の畝にピーマンとなすの定植を行ったほか、第2回研修において植え付けした、じゃがいもの芽かきなどを行いました。

実習中は指導員から、真っ直ぐな畝立ての方法や丁寧なマルチ敷設についてきめ細かな実技指導が行われ、受講生は熱心に質問を交わしながら一つひとつの作業に集中して励んでいました。

また、受講生同士の連帯感やチームワークもいっそう深まり、お互いに声を掛け合い、協力しながら研修を終了しました。

次回の第5回研修は、5月22日・23日に、雫石町南畑のコテージむらにおいて、種子と種まきについての講義のほか、ねぎ、ズッキーニの定植を実施する予定です。



講義「栽培管理①」の様子



息を合わせて黒色マルチの端に土を被せる受講生



ピーマン、なすの苗を定植する受講生



じゃがいもの芽かきをする受講生